



ニュースリリース

平成23年11月25日

“世界最小”最速次世代ダイシングマシン「AD3000T/S」が最先端半導体ラインで量産稼働開始

株式会社東京精密(代表取締役社長:太田邦正)は、世界最小・最速次世代ダイシングマシン「AD3000T/S」を市場投入。既に半年以上充分な評価期間を経て、今年9月より最先端の半導体生産ラインで稼働を開始しました。

東京精密は、1970年に国産初のウェーハダイシング装置「A-WD-75A」を開発し、Chip分割工程の高精度化、高効率化で黎明期の半導体産業に大きく貢献しました。開発当初から永年にわたり引き継がれた技術資産を継承し、最新の“Fluidics・Mechatronics・Energy Conservation”を融合したAD3000Tは世界のダイシング技術をリードします。

本装置は、台湾、中国の展示会に続き、セミコン・ジャパン2011でもご紹介します。

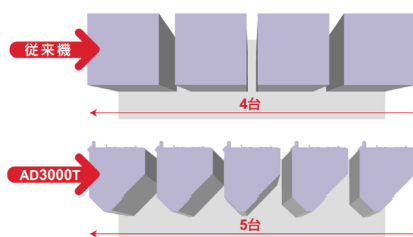
《AD3000Tの特徴》

1. 世界最小フットプリント
2. 世界最速TWINダイサ
3. 進化したGUI
4. メンテナンス性向上

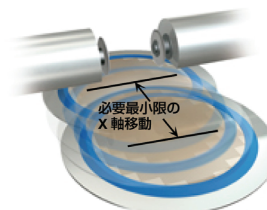


設置スペース

AD3000Tは、従来機と比較して、小型化に成功しました。



対向型 TWINスピンドル



以上

株式会社東京精密

東京都八王子市石川町 2968-2 〒192-8515 TEL. 042-642-1701